

編集後記

小生，現在大阪に住んで3年になる．外部から大阪を見たとき，そのイメージは商売の街，利潤追求，現世的な価値観に満たされた街といったものではないだろうか？同じ関西でも，千年の歴史をもった京都の重厚さとは異なった位置に存在するのではないか？小生も引越す前にはそのように考えていた．

大阪に住んでから，大阪市立東洋陶磁美術館を訪ね，旧安宅財閥の安宅英一氏によって集められた中国，朝鮮陶磁器のコレクションを拝見する機会に恵まれた．その内容のレベルの高さ，格調の高さに驚き，そして何よりも，膨大な陶磁器が「確たる美の信念による統一性」をもって集められたことに感動した．「美とはこうである」統一的世界観を見る者に訴えかけている．これほどまでに高尚で，深く考えられ，苦しみながら到達した美意識と哲学が，大阪に存在した．

そしてこのコレクションが，ビジネスの世界に生きる人間によって，企業活動としてなされたことに更に感銘を受

けた．利潤追求が優先されるビジネスの世界と，利潤追求とは対極である美の世界を危ういバランスで渡り歩きながら，これだけの偉業を為すのは，とてつもなく困難なことに違いない．この後，大阪起業家の美術館を幾つか訪ね歩いたが，ビジネスと美，これら2つの世界が微妙なバランスで存在しているような気がした．利潤追求はする．しかしそこで得たものを利潤追求とは別の有益なものに使う．小生が当初，安易に抱いていた大阪のイメージは破壊された．

プラズマを用いてもものづくりをし利潤を生み出すことと，プラズマプロセスの基礎的理解は，両者とも重要な課題である．しかし企業に生きるものにとって，これら2者のバランスは常に苦しみの種となる．将来を見越して，どのレベルまでプラズマプロセスの基礎的解明を行なった上で，ものづくりに応用するか？日々懊悩する．今は亡き大阪起業家たちに冥界より下世いただき，徹底的に討論してみたい衝動に駆られることがある．

(栗本祐司)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	本島 修	副 会 長	小川 雄一	藤山 寛	常務理事	中村 幸男 (総務委員長)
理 事	秋山 秀典 板垣 正文 (広告委員長) 坂本 慶司 寺井 隆幸 (編集委員長) 林 康明		疇地 宏 加藤 敬 笹尾眞實子 畑山 明聖 (広報委員長) 山崎 耕造 松尾 慶一		伊藤 早苗 (企画委員長) 近藤 光昇 (財務委員長) 佐野 史道 (出版委員長) 浜口 智志 (プログラム委員長)	
監 事	飯尾 俊二					

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 寺井隆幸 (東大)

エディター 関子秀樹 (九大)，田中雅慶 (九大)，福山 淳 (京大)，村上匡且 (阪大)，室賀健夫 (核融合研)，行村 建

編集委員 石島達夫 (名大)，市來龍大 (大分大)，出射 浩 (九大)，伊藤清一 (広島大)，打田正樹 (京大)，江原真司 (東北大)，大谷寛明 (核融合研)，神谷健作 (原子力機構)，假家 強 (筑波大)，菊池崇志 (長岡技科大)，菊池祐介 (兵庫県立大)，栗本祐司 (シャープ)，近藤正聡 (核融合研)，齋藤和史 (宇都宮大)，坂本隆一 (核融合研)，四竈泰一 (京大)，高橋幸司 (原子力機構)，田中康規 (金沢大)，濱口真司 (核融合研)，原 正憲 (富山大)，東口武史 (宇都宮大)，藤岡慎介 (阪大レーザー研)，前原常弘 (愛媛大)，三浦英昭 (核融合研)，三宅弘晃 (東京都市大)，宮本光貴 (鳥根大)，森 道昭 (原子力機構関西)

乱丁・落丁本は，ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください．送料当方負担にてお取り替えいたします．

プラズマ・核融合学会誌第86巻第3号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,365円 (本体1,300円)

印刷 株式会社荒川印刷

2010年 (平成22年) 3月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は (社) プラズマ・核融合学会が所有しています．

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として，毎月第1火曜日に開かれています．但し，都合により変更になる場合があります．